

# 神山神社だより

平成 29 年 8 月  
19 号

## ■ はじめに

この神社だよりを書いているのが七月初めでこれから夏祭り本番を迎えようとしています。しかし、皆様の手元に届くのは七月下旬ごろなので各地区の神社のお祭りが終わり一段落していることと思えます。

七月十六日には、高の巢八幡神社例大祭、八布施神社例大祭 七月二十二日神山神社宵祭り、七月二十三日神山神社例大祭、七月三十日新田菅原神社例大祭を執り行いました。各神社の当番の方に於かれましては暑い中、大変ご苦勞様でした。

神山神社に於いては今回、祭元は長根地区、富籤は川西地区、余興は元中組地区、注連縄作りは元野尻地区、行燈作りは植苗木地区で齋行していただきました。昨年までは注連縄作り、行燈作りの当番は祭り元が行っていましたが、昨年の反省、または一部地区等の要望により地区当番について変更させていただきました。近年、高齢化が進みまた少子化がこの福岡でも進む中、祭り準備、参加人員が減って大変ご苦勞されながら祭りを執り行

っているのが現状です。その為、少しでも、軽減できるように思案した結果、注連縄作りと行燈作りの作業を元野尻地区、植苗木地区にお願いすることとした次第です。祭りの行事そのものは、先人が考へ行なってきた訳でありますから、取り止めたり、縮小したりすることは出来ません。毎年、変わらず行なう為に、当番地区でない地区にお願いした訳であります。これからもどうぞご理解の上、宜しくお願い致します。

## ■ 日本各地災害見舞い

今年も例年の如く、日本各地で豪雨による災害が発生しました。災害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。特に九州地方に於かれましては多くの人命が失われ、大変悲しい結果となり残念としか言いようがありません。いつも災害については避難第一に叫ばれておりませんがいざとなると思うようにならないのが自然の驚異です。神社に於いても、その様な自然のあり様を畏怖し、自然の恵みに感謝する四季の祭りがあります。昔か

ら祭りを通じ、人々の思い的精神性は変わらないものであると改めて思う次第です。

## ■ 太刀吉則（国の重要文化財）

神山神社所有で遠山史料館に預けてあります太刀ですが来年度、京都国立博物館で行われる国宝刀展に展示品として貸し出すこととなりました。古代から現代に至るまでに作刀された国宝級の刀の展示会を催す運びとなり、神社の太刀も作刀された時代に於いて、重要な刀であるとのことで選ばれた次第です。

山城国京の刀工三条吉則の作で南北朝時代の太刀 奥州白川藩十萬石領主安部飛騨守が世話になった親類の遠山家に渡し 元苗木藩主遠山友禄(ともよし)氏の藩祖が植苗木の地に広恵寺城を構えていたゆかりによって、明治中期に神山神社に奉納されたもの 昭和二十五年国の美術工芸重要文化財となる

## ■ たたき祭り

神山神社の夏祭りの代名詞である「叩き祭り」ですが、この度、中津川市により県の無形民俗文化財に登録申請していたべく事となりました。

現在中津川市で無形民俗文化財として登録されているものは、蛭川の杵振り踊り・木遣音頭・恵那文楽・翁舞附人形頭と面・坂下の花馬 と全部で六件とあ

ります。

申請段階でありますから、登録されるかどうかは未だ分りませんが、登録された暁には、氏子の皆様へ報告すると共に、神前にて報告祭を執り行う予定です。

## ■ 今期事業計画

神山神社では今期、多くの氏子総代さんたちが新しく替わりました。地域の皆様方と神社の仲執りもちとして活動していただきます。宜しく願いたします。さて、今期の神山神社事業計画をお伝えしておきます。

- 国道沿いに神社の看板設置
- 社務所建て替え建設委員会の設置
- 氏子総代研修会
- 新春伊勢の神宮参拝旅行

## ■ 古文書探訪

神山神社所有の古文書を現在、遠山史料館にて解説をしております。古くは西暦一五四〇年頃からの神社の歴史が紐解かれるものと思っております。今、現在解説していただいている中で、大変面白い事が判ってきております。昔はこうだったのかと思えることを解説調査後、別途、お知らせしますのでお待ちください。

# ■ 幽光御神燈祭り (ろうそく祭り)

日時 八月十五日(火)

午後六時三十分〜午後十時

場所 神社境内

駐車場 総合事務所又は旧区民会館 ※境内に車を上げないようお願いします

催し内容

午後7時頃より境内にてミニコンサート

350本以上のろうそくによる幻想的なお祭りです、ご家族とご一緒に夕涼みにお越しください

## ★ みんなでろうそくたて ちょうちんを作って

### お参りしましょう

ろうそくたての作り方

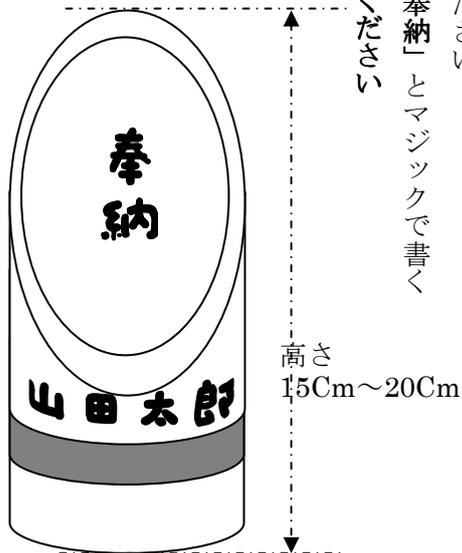
材料・竹(直径8cm以上)

口部分を斜めに切る

必ず節を残してください

出来上がったら「奉納」とマジックで書く

名前を必ず書いてください



ちょうちんの作り方

材料・アルミ缶・竹(1Mほど)・細い針金

側面に2CM間隔でカッターで切れ込みをいれる

押し付けてふくらみをもたせる

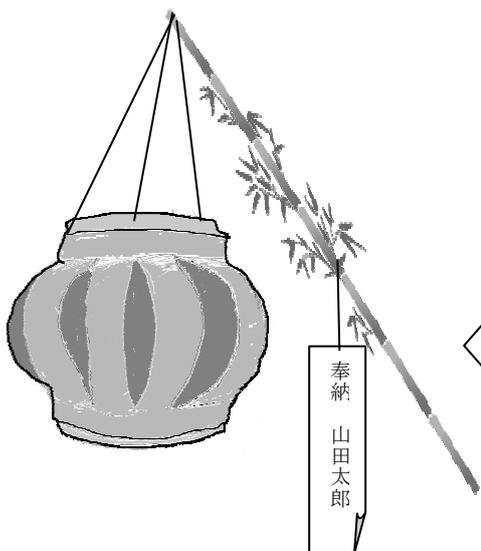
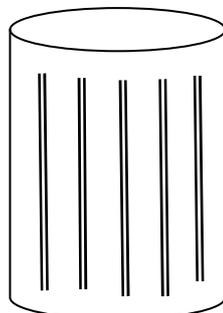
缶の底、側面に三箇所千枚通しで穴を開ける

針金を通して竹にくくる

短冊に「奉納」と書いて名前を書く

※缶の底を上

にします



☆ ろうそくは神社で用意します、八月十五日(火)の十二時より神社で受け取りします